



あい 逢  
愛 逢

第  
31  
号

特定非営利活動法人 愛逢

尼崎市小中島1-20-21

電話 06-6493-1424

FAX 06-6493-1443

発行責任者 長谷川 達雄

発行日 2010年4月8日

## 「愛逢の家」からみなさまにうれしいお知らせです！！ 助成金をいただきました

「西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部」から助成金いただきました。高速道路のサービスエリアに出店している方々が、社会貢献をするために基金を出しあい、社会が真に必要としている問題に目を向け、助成しようというものです。この社会貢献活動が「一粒の麦」となり世の中に善意の輪が広がるきっかけになることを願っております。

「愛逢の家」が一粒の麦となり、立派に実らせ、沢山の種を蒔くことが出来るよう頑張らなければ、と励みになっております。4月17日に予定しています、「生と死を考える」講座(チラシ参照)は、この助成金の一部を使わせていただきます。

## 新しい家族が増えました



吉住喜久子さん

4人目の入居者が、去る3月17日、東京の病院から退院して飛行機に乗ってこられました。吉住 喜久子さん、86歳です。

娘さんが東園田に嫁いでおられ、毎日顔を見せてくれています。

「最後の親孝行をしたい」との優しい娘さんの想いが届いて、慣れないところに来られたのに、喜久子さんはとても幸せそうです。他の皆様も、喜久子さんを歓迎され、穏やか

に暮しておられます。みなさま、是非遊びに来てくださいね。

又、服部キミエさんが99歳のお誕生日を迎えられ、ご家族と共にお祝いしました。



キミエさん99歳の誕生日パーティー

## NPO法人愛逢 第7回総会

日時 5月22日(土) 午後6時30分

会場 小中島福祉会館(2F)

会員のみなさま！！多数ご出席ください！！

# ボランティア研修

於・わかくさ診療所2F

2月28日(日)わかくさ診療所2Fで愛逢ボランティア研修が行なわれました。22名の参加があり、まず理事長の「ミッションについて」と「これからの愛逢」という話を聞き、次に自分がどのような形で関わっているか自己紹介をしながらひとりひとりが話をしました。弁当配達時の失敗や他のグループでの活動について話が盛り上がり、愛逢の活動を通じて地域との関わりを深めていこうという声が聞かれとても有意義な一日になりました。



ボランティア研修



みんなで昼食



各自己紹介

## 「愛逢歩こう会」が始まります

愛逢の日常の活動が、部門別に分かれていて交流する機会があまりありません。会員・スタッフ間の横の交流の第一歩として「歩こう会」を開始することになりました。ボランティアの西村高平(瓦宮在住)さんにリーダーをお願いしています。

第1回は、4月18日(日)野崎観音～飯盛山の約5kmをゆっくりと歩きます。JR塚口駅に9時集合です。

お問い合わせは、愛逢事務局(担当 滑川)まで電話(6493-1424)を下さい。  
新緑の中で、いい汗かいてみませんか!?

第1回	4月18日(日)	JR塚口駅9時集合	野崎観音～飯盛山
第2回	6月20日(日)	阪急園田駅9時集合	貴船神社～鞍馬寺
第3回	10月17日(日)	阪急園田駅9時集合	六甲最高峰～有馬温泉
第4回	11月21日(日)	JR塚口駅8時集合	明日香～石舞台





## 「園田地域の歴史」と「地域の未来」を学ぶ—ボランティア講座が開催されました

2月17日、24日、3月3日の3回シリーズでボランティア講座が行なわれました。  
(会場は、いずれも聖トマス大学)

今回は、(園田地域全体を視野に置いたボランティア養成にしようということになり)第1回目は、中村大蔵さん(阪神共同福祉会理事長)に園田地域の歴史を語っていただきました。

第2回目は、実際に園田地域で活動している8団体の方々に思いと活動内容を紹介してもらい、その中から受講生に選択してもらって実習にいらしてもらいました。



第1回目の中村大蔵さんによる園田地域の歴史

第3回目では、その実習を基に海士美雪さん(聖トマス大学ボランティアセンター)のコーディネートで地域の未来や課題について語り合いました。

とかく自分の所属する団体の周辺での活動にとどまりがちな傾向にあるものを、園田地域全体を視野に置いたことによって、これからのボランティア活動の方向性についても考えさせられる有意義な講座となりました。



第3回海士美雪さんによる地域の未来や課題について

### 中村哲 講演会

『豊かな水が平和をもたらす』

—アフガニスタンからの現地報告—

講師 中村哲 (ペシャワール会現地代表)  
日時 2010年6月13日(日) 13時~  
会場 尼崎市立労働福祉会館 (大ホール)  
主催 中村哲実行委員会 参加費 1,000円

### ミッション(社会的使命)

私たちは多様な生き方が尊重され、  
誰もが安心して暮らせる地域を作る為に、  
仲間と支えあい(愛)、つながりあ(逢)っていきます。



## 愛逢に期待すること

阪神医療生協小中島支部 地域担当 瀬野 康廣

私は愛逢のミッションにふれた時、地域の温かさを一番期待しました。小中島と言う地域性を少しずつ感じるようになって、本当に多様な人々が、共生していると思っています。とりわけ、愛逢が、先駆的にされている講演会や活動は、目を見張るものがあり、また、事業を担うスタッフの皆様のボランティア精神にも教えられます。

私は、まだ知らないことが多すぎると思い組合員さんと地域を少しでも知るために、今年は週に1回訪問日を決め、訪問することを



瀬野 康廣さん

重点課題にしようと思っています。その中で小中島地域のこれからを模索できればと思います。



### 生協組合員が集まる小中島支部事務所

阪神医療生協の小中島支部の活動が、愛逢の活動とうまく連携でき、相乗効果で「人と人が結びあい助け合いのある地域づくり」が進むことを心から願っています。

### 調理・配膳・配達・弁当箱準備等の手伝いスタッフを大募集

#### 活動時間・場所

- 月曜～土曜（日曜・祝日は休み）

午後 1:30～ 4:30

調理・配膳

午後 4:00～ 5:30

配達（自転車、自動車）

午後 5:00～ 6:00

弁当箱準備

- 場所 虹のふれあいセンター（小中島 1-5-10）

※特に、配達の自動車運転のできる方大募集！！

## ホット待夢



最近老化現象が激しくなってきた、足腰もちろんだが左腕までが痺れたり、力が入らなくなってきた。利き手でないから生活に不自由は無いと思いきや、やはり神から授かった両手が揃っていたからこそ、今まで何不自由なく過してこられたのだと痛感している。

どこが悪くてもよいという所はなく健康に勝る幸せはないと思う昨今である。

昔よく祖母が「我が身つね抓ひって他人の痛さを知れ」と言っていたが実感中である。

それにしても、パラリンピックで活躍された多くの選手の方々、障害をものともせず果敢にいどまれている姿をテレビ観戦していたが脱帽あるのみの思いだった。

もうすぐ春の優しい日ざしがみんなの上に。

< 淑女 >